

## 入試に向けてお勧めの効果的な勉強法5選

まなべるSTUDYより

今回は、高校受験におすすめの効率的な勉強法を、5つ紹介します。

人によって自分に合う勉強法は異なります。そこで、以下の方法について、具体的にどのように実践すればいいか、1つずつご説明していきます。

それらの中で、興味のある勉強法を試し、自分にぴったり合う方法を探し出してください。1つに限らず、組み合わせても良いでしょう。

### 1. 基礎固めをしっかりとる

基礎固めは、受験において、非常に重要です。なぜなら、高校入試のほとんどの問題が、基礎力を問う問題だからです。実際、基礎問題が解ければ、5~7割ほどの得点が取れます。難問は、ほとんどの人が正解できないため、基礎問題の正答率で差がつくといえるでしょう。裏を返せば、正答率が高い基礎問題が解けなければ、受験に合格できない可能性があるといえるのです。

また、応用問題を正解する必要がある難関校であっても、基礎力は非常に大切です。なぜなら、応用問題を理解するためには、基礎の理解が必須だからです。反射的に答えられるように何度も基礎問題を解いて、基礎固めをしっかりとしましょう。

具体的な基礎固めの方法は、教科によって異なります。

**国語**は、漢字や四字熟語、古文の単語などの基本知識に加え、文法もしっかり理解しておく必要があります。

**英語**の要は、何と言っても単語と文法です。動詞に関しては、原形だけでなく過去形や過去分詞形も必ずセットで暗記しておきましょう。

**数学**は、基礎固めとして、まず公式を暗記することが必要です。ただ、証明などの問題の場合、それだけでは正解を導くことはできません。多くの問題を解き、解き方を理解することが重要です。

**理科**や**社会**は暗記科目のため、頻出の単元や新設の単元を中心に確実に暗記しましょう。暗記科目は、勉強した分だけ点数に反映されるため、なるべく毎日目を通すことをおすすめします。

### 2. 隙間時間にやることを決める

移動中や休み時間、お風呂の時間など、探してみると1日の中で隙間時間は多くあります。しかし、積極的に自分で有効に時間を使おうとしないと、すぐ過ぎてしまう時間です。貴重な時間を無駄にしないように、単語の暗記など、やることをあらかじめ決めておく良いでしょう。そして、メモなどで持ち歩けば、場所に関係なく勉強に取り組みます。

その結果、睡眠時間や他の時間を削らずに、勉強時間を増やすことができます。

裏へ

### 3. 同じ問題集を何度も解く

同じ問題集を何度も解くこともおすすめです。たくさん問題集に手を出しても、全ての問題を理解するまで解くのは難しいです。それならば、今の自分のレベルに合った問題集を一冊買って、完璧になるまで繰り返し解いた方が、効率的だといえるでしょう。

問題集を選ぶ際には、解説が分かりやすいか、受験範囲を網羅しているか、図やイラスト、解説などが見やすいか、などを基準にします。

1冊が完璧になったら、繰り返す問題集のレベルを上げていって、最終的に志望校レベルまでもっていきます。無理せず1つ1つレベルを上げていくことで、逆に効率的に志望校レベルの実力をつけられます。

### 4. 間違えた問題を必ず解けるようにする

間違えた問題をそのまま放っておくのは、厳禁です。高校入試では、似たような問題が出題されます。一度間違えたときにきちんと向き合っておかないと、またつまづくのは目に見えています。必ず解説を自分の頭で理解し、解説を見なくても自力で解けるようにしておきましょう。

そうして苦手分野をつぶしておけば、志望校合格も見えてきます。

### 5. 志望校の過去問を解く

志望校が決まったら、過去問に挑戦してみるのも良いですね。毎年問題はもちろん違いますが、出題パターンは似ています。よって、実際に過去問を解いてみて解けない問題が明確になると、合格するために何を勉強しなければならないかがはっきりします。

また、逆に自分の得意な問題もわかります。得意な問題は油断せずに、ケアレスミスに気を付けましょう。さらに、志望校の過去問を解くメリットとして、時間配分が感覚でわかるようになるという点が挙げられます。それがわかるようになったら、入試直前には、時間配分を念頭におきながら過去問を解いてみる練習を行いましょう。そうすることで、本番で時間が足りなくなるという、最悪の事態を防ぐことができます。

#### これは絶対必要だと思うこと

- 頭の中に入れること（インプット）だけで終わらず、必ず問題を解くなど（アウトプット）をすること。インプットだけでは力は付きません。  
アウトプット例：問題を解く・暗唱する・教える
- 少し時間をおいて、くり返しやる。できた内容も、しばらくするとやりかたを忘れるので時間を数時間～数日時間を空けて復習すると記憶に残り定着します。

# 入試に向けてお勧めできない非効率な勉強法 3 選

## 高校受験にオススメできない非効率な勉強法 3 選

反対に、非効率な勉強法を 3 つご紹介します。

- 問題集をたくさん買う
- アウトプットをしない
- まとめノートをつくる

これらの勉強法は間違っていないかもしれませんが、効率的な勉強をしたい場合には不適切です。

効率的に勉強したい人は、避けた方が賢明です。

それぞれなぜ非効率な勉強法なのか、具体的にみていきましょう。

### 問題集をたくさん買う

問題集をたくさん買うのは、非効率な勉強法だといえます。  
なぜなら、1 冊の問題集を完璧にした方が、満遍なく受験範囲の勉強ができるからです。

1 冊の問題集は、基本問題から応用問題まで、試験に必要な範囲を網羅しているものがほとんどです。

問題集の内容は申し分ないのに、一度解いただけで次の問題集に移ってしまうと、1 冊目の問題集は、得意な分野しか解けないままになってしまいます。

そうすると、次の問題集でも同じような問題で間違えてしまう可能性が高いです。

それでは学力の向上は見込めません。

持っている問題集を完璧にしてから、次のレベルの問題集に移りましょう。

また、成績の良い人が使っている問題集が、万人受けするとは限らないことも覚えておいてください。

必ず問題集の解説などに目を通して、自分にあうか確認してから選ぶようにしましょう。

## アウトプットをしない

インプットのみでアウトプットをしないと、非効率な勉強法になります。

なぜなら、解き方を理解するのと、実際に解くのとでは、別問題だからです。

参考書などで解き方をインプットしたら、それで満足せず、必ず実際に問題を解いてみましょう。

問題を解くと、かかる時間も確認できます。

そこで間違えた問題は理解が足りていないため、参考書にもう一度戻って、インプットし直す必要があります。

インプットしたらアウトプットし、正解してはじめて、その問題を理解したといえることを忘れないでください。

## まとめノートをつくる

まとめノートをつくるのも、効率的な勉強法とはいえません。

その理由は、2つあります。

1つ目の理由は、まとめノートをつくるのには、かなり時間がかかるからです。

中学生は、部活や行事、学校生活と忙しく、勉強に充てる時間がそれほどありません。

その限られた時間を効率的に使うには、まとめノートより、苦手な部分のみ参考書にメモする方がおすすめです。

2つ目の理由は、まとめたからといって、あまり記憶に残らないからです。

まとめた内容は、何度も見返すことによって、記憶に定着します。

何度も見返すのであれば、まとめノートを作る時間分、参考書を何度も読んだ方が効率的だといえるでしょう。

## 1 日体験入学・オープンスクール等の案内

<b>加治木工業高等学校（体験入学）</b>	
日 時	8月22日（木） 11：00～ 希望者は11：10から部活動見学
場 所	加治木工業高等学校
内 容	学校紹介、体験学習
申し込み	6月23日配布資料のQRコードから申し込む 7月13日×切

<b>樟南高等学校（部活動体験）</b>	
日 時	8月22日（火）～25日（金）
場 所	樟南高等学校
内 容	部活動体験
申し込み	ホームページから申し込む。8月6日×切 以前のパンフレットに記載されていた8月21日実施分は中止になりました。

<b>鹿児島第一高等学校（夏のオープンスクール）</b>	
日 時	7月29日（土）、30日（日）
場 所	鹿児島第一高等学校
内 容	学校紹介・第一高校独自の授業体験・iPad を利用した授業体験・個別相談
申し込み	公式ホームページ、または6月27日配布資料の申込用紙から申し込む 申込用紙で申し込む人は、7月14日（金）までに必要事項を記入し東山へ提出

<b>鹿児島商業高等学校（体験入学）</b>	
日 時	7月28日（金） 8月28日（月）
場 所	鹿児島商業高等学校
内 容	学校紹介・体験学習・学科説明・部活動体験 ※詳細はホームページで確認を
申し込み	希望者は7月14日までに東山に申し出る。

<b>都城東高等学校（オープンスクール）</b>	
日 時	7月15日（土） 7月29日（土）
場 所	都城東高等学校
内 容	午前：学科体験 午後：部活動体験 詳細は6月28日配布資料参考
申し込み	6月29日配布資料にある申込用紙に必要事項を記入し、7月10日までに東山へ提出